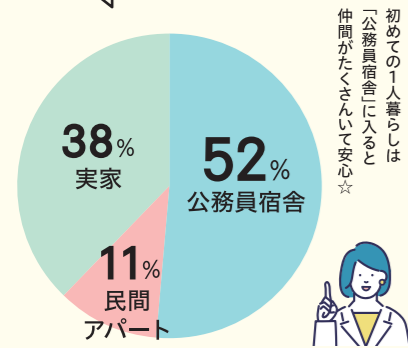
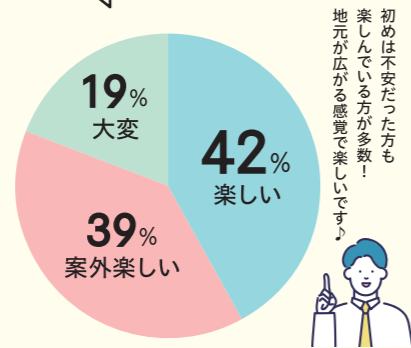


若手職員アンケート

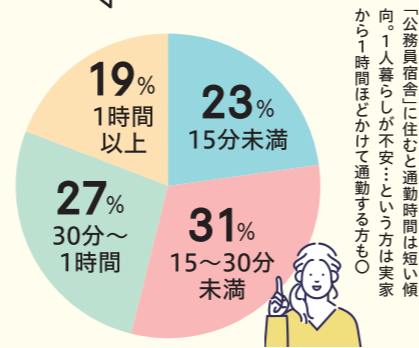
Q.どんなところに住んでる?



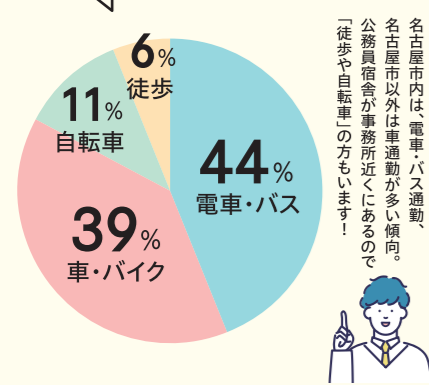
Q.地元を離れてみてどう?



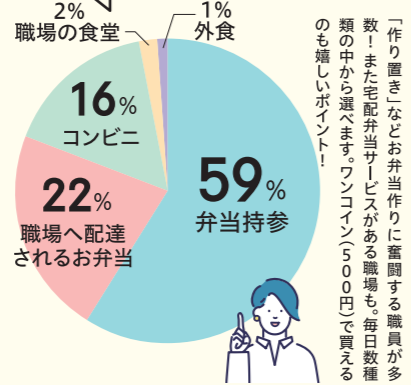
Q.通勤時間はどのくらい?



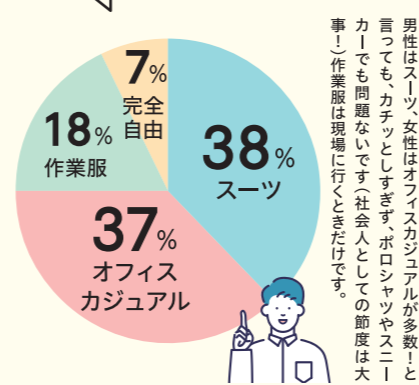
Q.主な交通手段は?



Q.ランチはどうしてる?



Q.職場での服装は?



若手職員の生の声、Instagramで発信しています

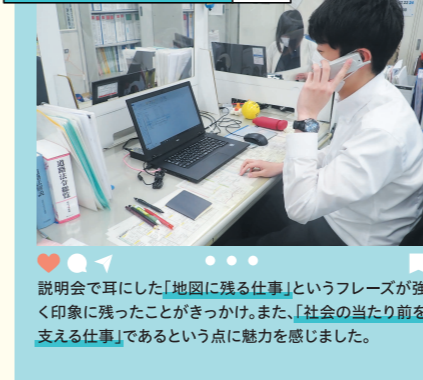
建設部門
行政・河川・道路
建築・電気・機械



港湾部門
行政・港湾



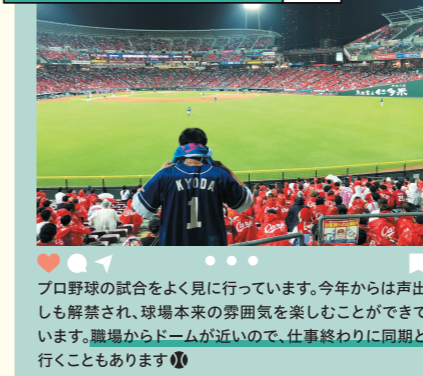
#入省のきっかけ



#1年目の仕事内容



#休みの日の過ごし方



#がんばるみなさんへメッセージ



公式SNSの更新や現場見学会対応を通して、一般・地元の方から期待の声を聞いたとき	自分の知識が着実に増えていき、業務の一員になれていると感じたとき	開通式の際に道路の重要性や地域からの期待などを実感し、そのような事業に携わること	携わる工事の規模がやはり大きく、自分が担当している工事の現場を見学した時は感動した	トンネルが貫通する瞬間に立ち会えたこと。地図に残る仕事に携われていること	1年目から重要な仕事を任せてもらえたり、現場に赴くことも多いのでたくさん経験ができること
フィールドワークが多く、目で確かめることで事業規模の大きさを実感したとき	やりがいを 感じた瞬間	建設現場に行き、インフラが出来ていく様をみて、これに携わっていることを実感したとき	中部5県が管轄なので、色々な土地を知っている人に出会えること(美味しいものやおすすめの場所を開ける!)	改めて 中部地方整備局を 選んでよかったこと	地方公務員と比べ部署が多くないため、自分の好きなジャンルでキャリア形成しやすいこと
徐々に自分で考えて行動したり、自分の考えを持って仕事ができるようになったとき	上司に任せてもらえる仕事が増え、自己成長を感じたとき	自身の準備した道路事業に関するパネルが商業施設に展示され、新聞の片隅に載ったとき	職場の雰囲気がいい!最初は仕事に不安を感じてたが、すぐに相談ができるので心配な仕事に打ち込むことができる	福利厚生がしっかりしていて、職場の近くに宿舎があるので生活の時間をしっかり取れること	皆さんが優しく教えてくださり、非常に質問がしやすく、話しかけやすいこと

業務の中でこのほうが効率よくできると思ったときに気軽に提案できて、実践させてもらえること	入省後も、業務を通して自分で調べたり、勉強することが想像以上に多いこと	仕事に対してみなさん前向きな考えを持った人が多い	ホワイトボード(100均)に一日の目標を書きだしてモチベーション維持していた	多くの過去問を解くことで試験問題の傾向をつかむことや、勉強をやりたくないときは勉強をしないなど、メリハリをしっかりとつけること	苦手科目で平均点を取れるように難しい問題を捨てること。自分で取捨選択することが大切!
現場に出ることよりも受注者との打ち合わせ等が多い	入省後に感じた ギャップ	入局1年目から業務委託の方に依頼をするマネジメントに近い仕事をする	国家公務員試験用の参考書や過去問を10年分やりました。各年、できなかったところをメモして、1週間後に解きなおしていました	わからないことをすぐに人に聞ける環境を作ることが一番大事!公務員志望の友達や、公務員に詳しい先生を捕まえておく	
デスクワークばかりだと思っていましたが、現場に出て実際に確認することも多いので仕事のメリハリがつかない	時期によって残業が多い雰囲気がある	休日の取り方や働き方(テレワーク・フレックス)に自由度が高い。服装も自由度が高い!	一般教養の中で配点が低い科目は勉強時間を少なく、専門科目等の配点が高い分野に勉強時間を割くのが得点アップの方法	勉強するときはスマホで自分の動画を撮り、vlog撮影している気分で勉強していました(笑)すぐスマホを触ってしまう人におすすめです	筆記試験も重要だが、それ以上に面接試験が大切!自分の言葉で自分の思いをどう伝えるか、実務的な質問に対して答えられるネガティブ(学生時代の出来事や文章化)することを心がけました